



大阪繊維工業高等学校



摂陵高等学校

秀麗会会報

創刊準備号
平成17年(2005年)9月15日
発行 秀麗会

秀麗会会報編集事務局
(株)陸風社内
〒530-0047
大阪市北区西天満2-6-8
堂島ビルディング502
TEL: 06-6364-9733
FAX: 06-6364-3601
E-mail: shureikai@rikufusha.co.jp

創刊準備号の

発行にあたって

秀麗会会員の皆様には
まずご健勝のこととお喜び申
し上げます。

私は平成10年4月に、大阪
繊維工業高校一期生、荒武清
次前会長より会長職を引き継
がせていただき、就任8年目
を迎えました。

秀麗会の現在の活動は、摂
陵中学・高等学校に対しての
一般災害修学支援金制度、ク
ラブ活動等で全国大会出場に
参加する諸経費の支給、学校
内新施設に対しての備品の贈
呈などに限られています。

しかしながら同窓会の本来
の活動は、新しい卒業生を迎
えると同時に総会員の動きを
的確に把握し、新しい名簿を
作成、会報を発行して会員の
皆様にお届けすることにあり
ます。昨今は個人情報保護等
の問題もあり、目的達成がな
かなかむずかしい状況となっ

ておりました。

この度、摂陵中・高PTA
前会長で、摂陵高等学校四期
生の小阪克彦氏の協力もいた
だき、ようやく「創刊準備号」
の発行となりました。発行に
あたっては摂陵中学・高等学
校PTAの皆様、編集制作会
社の(株)陸風社様にもお力添
えをいただきました。

今度、定期的な発行を目標
に、

「1」同窓会会員・現旧職員の方々の近況報告

「2」次の会員となられる中
学・高校生の皆様、PTA会
員の方々の近況報告

「3」同期会や地域の集まり等
の話題(各期で盛んに行われ
ていると聞きます)

などを掲載したいと考えてお
ります。

この会報を通じて秀麗会会
員の実社会での活躍や、生徒



秀麗会会長
繊維2期 祖田好夫

諸君の活躍をお伝えし、会員
の皆様楽しく読んでいただ
ければと思っております。

一期生の先輩が一輪車で小
石を拾い、整地された運動
場は、今も現役生徒たちが野
球、サッカーなどの各クラ
ブ活動に使用しています。昭
和38年に竣工した原理理事長記
念プールも観覧席の一部を残
し新しくなっています。冬に
は氷が張り、スケートができ
たことが私には懐かしく思い
出されます。夜食を取った食
堂も改装され、すっかり様子
が変わりました。会報が届く
たびに、会員の皆様それぞれ
に、高校生活の思い出が蘇っ
てくることでしょう。

この会報刊行には皆様のご
協力なしでは成り立ちませ
ん。今後ともご支援いただけ
ますよう、よろしくお願い申
し上げます。

会員の個人情報の 取り扱いについて

①本会は、本会の規約に定める
目的及び目的を達成するため
に行う各種事業活動のために
会員の個人情報を利用します。
具体的には、会員名簿の作成、
会報の作成及び送付、各種行
事の開催ご案内などに利用し
ます。

個人情報について非開示を希
望の会員は、同封のハガキに
必要事項を記入し、本会まで
通知してください。

②本会は、利用目的の達成に必
要な範囲内において、適正か
つ適法な手段により、個人情
報を取得すると共に、個人情
報が正確かつ最新の内容に保
たれるように努めます。

③本会は、利用目的の達成に必
要な範囲内において、個人情
報の全部又は一部の取扱いを
外部の第三者に委託する場合
があります。委託に関しては、
個人情報安全管理が図られ
るよう必要かつ適切な監督
を行います。

④本会は、法令等に定めがある
場合を除き、あらかじめ会員
の同意なく、個人情報を外部
の第三者に提供することは致
しません。

近年の秀麗会活動

● 母校への備品寄贈、後輩への修学金支援を行っております

① 生徒会館竣工への
記念品贈呈

「グランドピアノを寄贈」
かねて建設中であった「学園生徒会館」は平成16年8月に無事工事を終えました。9月13日に同会館において竣工記念式典が挙行され、関係者にお披露目されました。
この建物は以前食堂のあった跡地に建設されたもので、地上4階建て、床面積



5326・68㎡(1611・32坪)の立派な施設です。1階部分には生徒や教職員が利用する食堂(180席)が設けられている他、ラウンジ(2室)も備わっています。

2階からの上層部分には座席数844席のホールがあり、入学式、卒業式等の学校行事はもちろん、文化祭や人権教育講演会などにも幅広く利用されています。

ホールの特長としては、音響効果に優れていることです。竣工記念式典での大阪フィルハーモニー交響楽団(梅田俊明氏指揮)の演奏の際には、聴衆より大変高い評価を得るなど、最新設備を完備したホールの誕生となりました。

本会では、この「学園生徒会館」の竣工を祝し、学校側とも協議の上、同ホール専用のグランドピアノ(ヤマハ

社製)及び付属品一式を寄贈致しました。各種行事における利用や生徒の音楽・芸術教育に役立てばと願っております。

なお、グランドピアノ及び付属品一式の寄贈に対し、学校側より感謝状を頂戴いたしましたことを併せてご報告申しあげます。

② 修学支援金制度の
共同創設

― 現役生徒の授業料を支援 ―

平成14年度末に摂陵中学校・高等学校PTAより、本会に対し、学校に在籍する生徒に対する「修学支援金制度」の共同創設について協議の申し入れがありました。

昨今、現役生徒のなかには、保護者の経済状況がおもわしくなく、学費納入が困難な者が増えてきています。卒業を待たずに夜間高校へ転校したり、学業そのものを断念しようとする生徒に対して、出来る限り母校において、学業を続けてもらえる制度をつくらうと、PTAが創設を目指された計画です。

本会は、申し入れを受け、役員会で創設に必要な規定や応募者から支援者を選考する基準や方法を慎重に検討を行いました。これを基にPTAや学校当局とも数度にわたる協議を行った結果、その創設趣旨に賛同し、PTAと本会との共同事業として平成16年度より「修学支援金制度」を創設することになりました。

本会とPTAでそれぞれ年間100万円を支出(合計総額200万円)し、摂陵中学校・高等学校に在籍する全生徒を対象として公募。選考の上、選ばれた生徒には授業料等を支援し、摂陵での勉学を継続してもらいます。趣旨は社会に役立つ人材に成長してもらうことにあります。

平成16年度においては中学・高校合わせて20名の応募があり、審査の結果、それぞれに励ましのお便りと共に支援金をお贈りしました。

平成17年度は、交通事故、火災、通り魔事件の被害者などを支援対象者としていきます。これからも必要な生徒に支援金を提供する予定です。

● 今後の活動について

① 規約の改正

本会の現行規約「同窓会規約」は昭和62年4月1日に施行されてから、既に18年の年月が経過しております。この間、本会会員となられた方々も約5000名増加し、既に1万人を超える会員を有する組織体となっております。本会ではこのような状況を踏まえて、会員数の増加に対応可能な内容をもつ規約への見直し作業を進め、早期に成案を得て改正を図りたいと考えております。

② 学校当局及び摂陵中・高PTAとの連携

母校の維持発展に貢献できる組織体であることを願い、学校当局及び摂陵中・高PTAとの連携を高めていきたいと考えております。

③ 会報の定期的発行

会報を定期的に発行し、会員の皆様へ本会活動への参加と理解を深めていきたいと考えております。

会員名簿発行事業の

現状について

織維3期 浅野正憲

発行に伴う問題点

「会員相互の連絡を取りたい」。そういう声が同窓会事務局に多数寄せられたのを受けて、1992年には摂陵高校16期生までの方を、また97年にはさらに21期生の方まで編集し、会員名簿を発行してまいりました。

いずれも「氏名・現住所・自宅電話番号・勤務先」を網羅したものです。これらの名簿は会員の方々が旧交を温めるのに十分活用いただけたいものと存じます。

しかしながら発行と時を同じくして、多数の苦情が寄せられたということもございました。記載内容の不備の指摘に始まり、了解なしに記載されている内容を含んでいました。

こうした苦情の背景には名簿を悪用した各種業者の暗躍という現状があったものと想像されます。中にはわざわざ「同窓会の事務局の者ですが」と偽って電話してくる悪質なケースもあったとか。もちろん事務局として一切関与しておりませんが、深刻な問題を残したことも事実です。

発行に際しては依頼業者との間に詳細な契約を交わしておりますが、どこからか流出するのは避けられないようです。ちなみにその後この業者(新写植出版株式会社)は倒産しましたので、個人データはすべて引きあげた上、現在本校のメディアセンターで一括管理しています。

今後の名簿のあり方

私たちとしましても問題点

を踏まえた上で何とか工夫できないものかとあれこれ検討してまいりました。一例として、情報記載範囲について、個々の会員すべての方に指示、了解を得るとか、さらにさかのぼって記載そのものの有無を問うとか、いろんな案が出されました。しかし、いずれも膨大な作業を要するものであり、それに何より名簿としての形を成すかどうか懸念されました。

折しも「個人情報保護法」の制定と相まって、名簿作成に關しては全く暗礁に乗り上げてしまいました。恐らく今後は、従来のような形での名簿発行はむずかしいと思われる。会員の皆様方のご了解をいただきたく存じます。

個人情報保護への取り組み

皆様方もニュース等でご存知の通り、法律制定後も個人情報的大量流出があらちこで問題になっております。この点私たちも現在保管されている皆様方の個人情報に關しては、取り扱いに十分慎重を期

すように致しております。

時々会員の方から問い合わせのお電話をいただきますが、可能な限り来校していただき、卒業生であることを確認の上、使用目的などを質問

させていただきます。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

以上、簡単に名簿発行の経緯と現状について、ご報告いたします。

会員の転居先、近況の連絡は同封のハガキをご利用ください

友人、先輩、恩師の転居先をお知らせください

この度、「会報」を創刊し、定期的に発行することにより、会員相互の連携や母校の現状と発展する姿をお伝えしていきたいと考えております。

そのためには会員の皆様の現住所や氏名など連絡先を正しく把握する必要があります。しかしながら、本会の会員数は既に1万人を超え、更に毎年増加しています。そのため、会員と本会との連絡が希薄になりつつあります。会員の転居などにより連絡先などを把握出来ていない方が残念ながら少なくありません。



つきましては、同期の友人たちだけでなく、クラブの先輩、後輩などの同級生(卒業生)や恩師の方々の現住所など連絡先をご存じの方は同封のハガキで、本会までお知らせください。ようお願い致します。

また、ご自身の近況や在学中の思い出などもお寄せください。いずれも同封のハガキをご利用ください。

メールでも受付

メールでも転居連絡、近況報告を受け付けております。

メールをご利用の方はこちらにご連絡ください。
E-mail
shureikai@rikufusha.co.jp

秀麗会役員紹介

(敬称略)

●左記の8人で役員を務めています

各期の幹事紹介

(敬称略)

●各期の幹事は左記の通りです

大阪繊維工業高等学校

1期 石野哲男 西條博

2期 小林勝 祖田好夫

3期 大久保光人

4期 長浜保広

5期 大平孝 浜崎茂

6期 難波正 上野富一

7期 世良田富男 川西一義

8期 丸山隆幸

9期 廣瀬伸夫 高馬健治

10期 渡地利雄 大西裕和

11期 堀川日出男

12期 藤川春義

13期 川村斗志也

14期 西村弘光

15期 今西正 石橋高嗣

摂陵高等学校

1期 梶田忠彦 大向善信

2期 谷敷光則 石田卓也

3期 百北幸司 高島久尚

4期 中西敏朗 日野篤

5期 稲井恒彦 前澤郁浩

6期 大西太 藤井洋

7期 山下聡 湯澤正

8期 荒木陽一郎

9期 谷本智

10期 瀧井秀三

11期 石丸伊知郎

12期 西川忠克 森川政幸

13期 谷口吉一 松下耕三

14期 見崎輝文 吉村哲郎

15期 稲津賢 辻元盛

16期 荒武清貴 辻上章平

17期 一森春輝 竹内一利

18期 橋元大介 中嶋太郎

19期 福山晃一 蔭山忠久

20期 青井勇太 小柳洋亮

21期 青柳充 平田真之

22期 足立潤哉 村尾賢哉

23期 田中久也 森一将

※平成17年3月卒業生が29期生となりまして。

※17期、18期、20期、25期は氏名が不明です。幹事ご本人又はご存じの方は本会までご連絡下さい。

編集後記

昭和39年(1964年)3月、現在の摂陵高校の前身である大阪繊維工業高校(当時)の第一期生63名が卒業されました。この方々を最初の会員として昭和40年10月にOB会「秀麗会」が発足し、今日に至る会の活動が始まりました。今日会員数はおおよそ1万1千人になります。

幸いにも年々その会員(卒業生)数は増え続けて、既に親子二代で卒業された方もおられます。母校が「歴史」と「伝統」ある学校として発展し、またそれに伴い、秀麗会も風格ある組織になったのではと一人のOBとして思えるようになりました。

そこで、本会の活動や今後のあり方、現在の母校の姿などを皆様にお伝えし、交流を図りたいと会報を創刊、まず「創刊準備号」をお届けさせて頂いたできました。来年には「創刊号」をお送り出来るよう準備を進めます。ご理解とご協力をお願い致します。(K)